

ラトビア月報

【2024年6月】



2024年（令和6年）7月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ ラトビアにおける欧州議会選挙の実施とその結果 (P. 1)
- ・ ラーツェ文化省政務官が文化相に就任

【経済】

- ・ レール・バルティカ社は最新の費用便益分析を発表 (P. 2)
- ・ 政府はレール・バルティカに関する優先課題を決定
- ・ バルト三国の監査院はレール・バルティカに関する共同声明を発表 (P. 3)

【外交】

- ・ NATO ブカレスト9首脳会合がリガで開催 (P. 4)

【その他】

- ・ 2024年の年初の人口は187万人 (P. 6)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆ラトビアにおける欧州議会選挙の実施

6月8日に実施された欧州議会選挙の暫定結果が、同月10日、中央選挙管理委員会により以下のとおり発表された。投票率は33.72%で、前回（2019年）の投票率33.60%をわずかに上回った。ラトビアの有する議席数は9議席（前回は8議席）。

「新・統一」	25.07%	2議席	（変化なし）
「ナショナル・アライアンス」	22.08%	2議席	（変化なし）
「ラトビアの発展のために」	9.36%	1議席	（変化なし）
「統一リスト」	8.18%	1議席	（初当選）
「進歩党」	7.42%	1議席	（初当選）
「調和」	7.14%	1議席	（1議席減）
「ラトビア・ファースト」	6.16%	1議席	（初当選）

現在、国会の与党である「緑と農民連合」の得票率は2.28%となり、議席獲得には至らなかった。

◆ラーツェ文化省政務官が文化相に就任

6月20日、国会はラーツェ文化省政務官を文化相として承認した。これは、同月17日、ロギナ文化相が私的な理由により辞任したため。

◆ブラジェ外相は「新・統一」に入党

6月4日、これまで政党に所属していなかったブラジェ外相は政党連合「新・統一」を構成する党の一つである「統一」に入党した。

◆環境保護・地域開発省がスマート行政・地域開発省へ名称変更

6月6日、国会は環境保護・地域開発省をスマート行政・地域開発省に改名する改正内閣秩序法案を可決した。現在、環境保護・地域開発省の管轄である環境保護が気候・エネルギー省へ移管され、自然保護はスマート行政・地域開発省の管轄に留まる。

◆政府はドムブロウスキス欧州委員会上級副委員長を次期欧州委員候補に指名

6月11日、政府はドムブロウスキス欧州委員会上級副委員長兼貿易担当欧州委員を次期欧州委員候補に指名するスイリニャ首相の決定を支持した。

◆国会はルール・バルティカの調査委員会設置を決定

6月13日、国会はルール・バルティカの調査委員会設置を決定した。同委員会は、国会に議席を有する各党から1名ずつ合計7名で構成される。同月20日、クルベルグス議

員（統一リスト）を議長とし、同委員会は発足した。

◆ムールニエツェ議員（前国防相）が国会外交委員長に就任

6月20日、国会はムールニエツェ議員（前国防相）を国会外交委員長として承認した。これはコルス前国会外交委員長が欧州議員に選出されたため。

◆国会はレーゼクネ市議会の解散法案を可決

6月20日、国会はレーゼクネ市議会が予算関連の法律に違反したとして、環境保護・地域開発省が策定したレーゼクネ市議会解散法案を可決した。同法によると、レーゼクネ市は次回の選挙により選出された新市議会が招集されるまでは暫定行政府により運営される。同日、レーゼクネ市議会は本件に関して憲法裁判所に訴える決定を行った。

◆ラトビア語能力を求めるロシア国籍者の範囲を拡大

6月20日、国会は、ラトビア国内の安全保障強化及びラトビア語の地位向上のため、所謂「外国人法」によりラトビアの永住権を取得した75歳未満のロシア国籍者に対してもラトビア語試験の合格を義務付ける改正移民法を可決した。これらのロシア国籍者は、2025年6月30日までに市民権・移民局にEUの永住権を申請しなければ、ラトビアの永住権の有効期限は2025年7月15日となる。約5,000人のロシア国籍者がこの対象となる見込み。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆レール・バルティカ社は最新の費用便益分析を発表

6月10日、レール・バルティカ社はレール・バルティカ計画の新たな費用便益分析（Cost-Benefit Analysis）を発表した。同社によると、レール・バルティカは経済的に実現可能であり、バルト三国のGDP成長率の0.5~0.7%に貢献し、66億ユーロの直接的経済効果、155~235億ユーロの間接的経済効果を与える。

しかし、2017年から2022年のバルト三国の消費者物価上昇率40%を考慮して、レール・バルティカの第一フェーズには153億ユーロ必要、フルスケールで248億ユーロ必要となり、費用増大によりEU基金の他にも財源を探索中であるとした。そして、2030年までにレール・バルティカが運行可能な状態で完了する（第一フェーズ）予定であり、ポーランドとリトアニアの国境は複線で接続され、ラトビア及びエストニアは後に複線に拡大する前提で当初は単線で建設されるとした。

◆政府はレール・バルティカに関する優先課題を決定

6月11日、政府は運輸省が策定したレール・バルティカに関する報告書及び2030年

までの第一フェーズの作業計画等を基に、第一フェーズの優先課題を「完全なりガの統合」（北部及び南部の両側よりリガ中央駅及びリガ国際空港駅へアクセス可能となること）とし、運輸省は9月30日までに政府にレール・バルティカの長期的財政計画を策定することとした。

◆バルト三国の監査院はレール・バルティカに関する共同声明を発表

6月12日、バルト三国の監査院はレール・バルティカに関する共同声明を発表し、①レール・バルティカ建設には100億ユーロ以上の追加的財源が必要、EU多年度予算の期限が2027年で終了することによるリスクもある、②現時点で第二フェーズに関する具体的な計画は存在しない、③車両調達に8年程かかる可能性があり、2031年までに列車が存在しないリスクあり、④列車調達費用や運営費は本計画の予算には含まれず、EU基金を利用できない、という点を指摘した。

◆2024年5月の失業率は5.2%

6月10日、国家雇用庁は2024年5月末の失業率は前月末比0.2%減の5.2%になったと発表した。

◆2024年5月の消費者物価上昇率は0.1%

6月10日、中央統計局は、2024年5月の消費者物価上昇率が前年同月比0.1%、前月比では0.3%となったと発表した。5月の物価上昇は、主に、運輸関連商品・サービス、たばこ製品・アルコール飲料及びヘルスケアの上昇の影響を受けた。

◆ラトビア中央銀行は2024年の実質GDP成長率予測を1.8%に据え置き

6月10日、ラトビア中央銀行は、2024年6月のマクロ経済の見通しを公表した。GDP成長率は2024年が1.8%（1.8%）で据え置き、2025年が3.3%（3.6%）と下方修正、2026年が3.8%（3.8%）で据え置いた。消費者物価上昇率は2024年が1.5%（1.5%）で据え置き、2025年が2.1%（1.9%）と上方修正、2026年は1.8%（1.8%）で据え置いた（括弧内は2024年3月予測）。発表された主な指標の予測は以下の通り。

	2024年	2025年	2026年
実質GDP成長率（%）	1.8	3.3	3.8
消費者物価上昇率（%）	1.5	2.1	1.8
失業率（%）	6.7	6.4	6.1
一般政府財政赤字（対GDP%）	3.8	3.5	2.8
一般政府債務残高（対GDP%）	44.5	45.5	46.0

◆2023年のシャドウ・エコノミーは前年比3.6%ポイント減の対GDP比22.9%

6月12日、ストックホルム商科大学リガ校は、バルト諸国のシャドウ・エコノミー（地

下経済) 指数 2023 年を公表した。これによると、2023 年、ラトビアの GDP におけるシャドウ・エコノミーの割合は、前年より 3.6%ポイント減少して 22.9%となった。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆NATO ブカレスト 9 首脳会合がリガで開催

6月11日、ラトビアの首都リガで NATO 中東欧 9 カ国首脳会合（通称：ブカレスト 9）が開催された。今回の首脳会合には、ストルテンベルグ NATO 事務総長と中東欧 9 カ国の代表の他、新 NATO 加盟国のスウェーデンとフィンランドからも参加した。会議後の議長声明では、ロシアと中国の結びつきが強まっていることへの懸念が表明され、国連憲章に謳われる主権及び領土一体性の原則を含む国際秩序を守り、ウクライナにおける戦争でいかなる形でもロシアを支援しないことを全ての国に求めると発表された。

◆アフリカ諸国とのパートナーシップに関する国際会議がリガで開催

6月3日-4日、「ラトビアとアフリカ諸国：平和と強靱性のためのパートナーシップ」がラトビア外務省主催で開催された。アフリカ諸国からの参加者は、官民合わせ 100 名以上、18 カ国に上った。

◆ブラジェ外相とカナダ NATO 大使との会談

6月7日、ブラジェ外相はエンジェル・カナダ NATO 大使、駐留カナダ軍関係者らと会談した。同会談では、二国間安全保障協力、7月の NATO ワシントン首脳会合、ウクライナへの支援、ロシアへの制裁等について協議された。

◆ブラジェ外相のスウェーデン訪問

6月10日、ブラジェ外相がスウェーデンを訪問し、ビルストロム外相等と会談した。同会談で安全保障に関し二国間で同じ認識を共有していることを確認した。

◆リンケービッチ大統領とストウツプ・フィンランド大統領との会談

6月11日、リンケービッチ大統領はフィンランドのストウツプ大統領と大統領府で会談した。会談の中でリンケービッチ大統領は、「ラトビアとフィンランドの協力は防衛産業強化のための良いお手本」と述べた。

◆リンケービッチ大統領は NATO 事務総長に「三つ星勲章」を授与

6月11日、リンケービッチ大統領は、リガで開催のブカレスト 9 (B9) サミット期間中、ストルテンベルグ NATO 事務総長に「三つ星勲章」を授与した。厳しい地政学的状況において、NATO 同盟国の政治的・軍事的強化に貢献した同事務総長の功績を称えたもの。

◆リンケービッチ大統領のウクライナ平和サミット出席

6月15-16日、リンケービッチ大統領はスイスで開催されたウクライナ平和サミットに出席した。同大統領は、ウクライナ領土からロシア軍を完全撤退させ、ウクライナの領土一体性を回復する必要性を強調した。ラトビアは現在、女性や子供たちに様々な支援を提供する支援センターを、ウクライナ国内3カ所で開設しており、他国にも同様の支援を提供するよう呼びかけ、また、ロシアの犯罪や人権侵害行為を告訴できるよう国際刑事裁判所を支援するよう求めた。また、同サミット中リンケービッチ大統領は、モルドバのサンドゥ大統領と会談し、モルドバのEU加盟に対し強い支持を表明した。

◆ブラジェ外相のポーランド訪問

6月20日、ブラジェ外相はポーランドを訪問し、シコルスキ外相、ベラルーシ民主勢力暫定内閣副代表等と会談した。この会談でブラジェ外相は、「バルト地域の安全なくしてポーランドの安全なし、その逆もまたしかりである」と述べ、共通の優先事項である戦略的インフラの強化とその事業継続を確保することを確認した。7月1日より「EUSBSR (EUバルト海地域戦略)」の議長国がラトビアからポーランドに移る。

◆リンケービッチ大統領のツェーシスの戦い105周年演説

6月22日、リンケービッチ大統領は「我々は常に自由への渴望によって結ばれている」とツェーシスの戦い105周年記念式典で演説し、共に戦ったエストニア人に対し英雄の日を祝った。また大統領は、ウクライナへの支援、NATO同盟国の更なる結束を確認した。

◆ブラジェ外相のEU外務理事会出席

6月24日、ブラジェ外相はEU外務理事会で、ロシアに対する新たな制裁措置と、ベラルーシに対する制裁の即刻強化を求めた。同日承認された対ロシア制裁は、ウクライナへの軍事装備の購入にロシア資産から得られる利益を使えること、ロシアへのマンガン鉱石の輸出と通過の禁止、ロシアの「影の船団 (原油の闇タンカー)」の標的化が含まれる。

◆リンケービッチ大統領のフェリペ・スペイン国王公式訪問での挨拶

6月25日、リンケービッチ大統領はスペインのフェリペ国王を招いた公式昼食会で、1921年ラトビアの独立をいち早く承認したスペインとの長い友情関係に感謝の意を述べた。また、大統領は二国間の経済、技術、文化交流に感謝し、ラトビアの領空を守るスペイン軍が駐屯するアーダジ基地に国王と共に訪問することを嬉しく思うと述べた。

◆リンケービッチ大統領のアルメニアの国民議会議長との会談

6月26日、リンケービッチ大統領はラトビアを訪問中のシモニャン・アルメニア国民議会議長と、ユールマラの公邸で会談した。リガとエレバンを結ぶ直行便が両国の文化・経済交流を促進していることに言及し、今後の二国間の更なる協力関係、地域の安全保障

についても意見交換した。

◆スイリニャ首相の欧州理事会出席

6月27-28日、ブリュッセルで行われた欧州理事会に出席したスイリニャ首相は、今回決定された欧州委員会の首脳人事は、欧州議会選挙の結果と地理的バランスに考慮したものであり、ラトビアの利益に繋がると述べた。今後欧州議会が承認すれば、フォン・デア・ライエン前欧州委員長の続投が決定する。その他、欧州理事会常任議長にはポルトガルのコスタ前首相、外交安全保障上級代表にはエストニアのカラス首相が選出された。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆2024年の年初人口は約187万人

6月3日、中央統計局は2024年の年初人口は前年比0.59%減の約187.2万人と発表した。

◆リガで「Baltic Pride 2024」を開催

6月6日～15日、リガでLGBT等の権利擁護団体「Mozaika」が「Baltic Pride 2024」を開催した。15日正午、このイベントの最大行事である「Until We Are All Equal」行進がヴェルマネ公園から開始されたが、口論や暴動等は起こらず平和裏に終了した。

◆ポルズィンギス選手はラトビア人で初のNBAで優勝した選手となった

6月17日、ボストン・セルティックスはNBA（北米男子バスケットボールのプロリーグ）の決勝戦で勝利し、同チームに所属するクリスタプス・ポルズィンギス選手はラトビア人で初のNBAで優勝した選手となった。18日、リンケービッチ大統領等のラトビア高官は同選手に祝辞を述べた。

◆男女の時間当たりの平均給与の差は前年比0.6%ポイント減の16.5%

6月20日、中央統計局の暫定データによると、2023年の女性の時間当たりの平均給与が男性より16.5%少なかったと発表した。2023年に最も男女差が大きかった部門はICT（33.5%）及び金融・保険（30.6%）等で、建設（-6.1%）、電力・ガス・暖房供給・冷房（-1.0%）、行政（-0.6%）では女性の平均給与は男性を上回った。2022年のEU平均男女給与差は12.7%。

（了）

2024年6月の主な出来事

	【内政】	【外交】
6月	4日、ブラジェ外相は「新・統一」に入党	3日、アフリカ諸国とのパートナーシップに関する国際会議がリガで開催
	6日、環境保護・地域開発省のスマート行政・地域開発省へ名称変更が決定(実施は7月1日から)	7日、ブラジェ外相とカナダNATO大使との会談
	8日、ラトビアにおける欧州議会選挙の実施	10日、ブラジェ外相のスウェーデン訪問
	11日、政府はドムブロウスキス欧州委員会上級副委員長を次期欧州委員候補に指名	11日、リンケービッチ大統領とストゥップ・フィンランド大統領との会談
	13日、国会はレール・バルティカの調査委員会設置を決定	15日、リンケービッチ大統領のウクライナ平和サミット出席
	20日、ラーツェ文化省政務官が文化相に就任	20日、ブラジェ外相のポーランド訪問
	20日、ムールニエツェ議員(前国防相)が国会外交委員長に就任	
	20日、国会はレーゼクネ市議会の解散法案を可決	24日、ブラジェ外相のEU外務理事会出席
	20日、ラトビア語能力を求めるロシア国籍者の範囲を拡大	25日、リンケービッチ大統領のフェリペ・スペイン国王公式訪問での挨拶
		26日、リンケービッチ大統領のアルメニアの国民議会議長と会談
	27-28日、スィリニャ首相の欧州理事会出席	

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
名目GDP	百万ユーロ	29,154	30,573	30,109	33,349	38,386	40,348	9,335	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	15,135	15,980	15,840	17,710	20,351	21,444	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	4.0	0.6	▲ 3.5	6.7	3.0	▲ 0.3	0.1	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	69	69	72	71	72	71	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)

財政収支, 政府債務残高

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 217	▲ 149	▲ 1,319	▲ 2,396	▲ 1,779	▲ 893	41	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 4.6	▲ 2.2	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,784	11,209	12,869	14,809	16,039	17,581	18,043	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	37.0	36.7	42.7	44.4	41.8	43.6	-	公式統計ポータル

失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
失業率	%	7.4	6.3	8.1	7.6	6.9	6.5	7.2	公式統計ポータル
消費者物価上昇率	%	2.5	2.8	0.2	3.3	17.3	8.9	0.7	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	1,004	1,076	1,143	1,277	1,373	1,537	1,623	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	742	793	841	939	1,006	1,119	1,180	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	430	430	430	500	500	620	700	公式統計ポータル

対内直接投資(FDI)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	15,334	16,050	16,799	21,196	22,564	24,476	25,060	中央銀行

貿易統計

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	12,773	12,966	13,305	16,452	21,334	19,038	4,705	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	15,793	15,914	15,159	19,519	26,496	23,412	5,145	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,067	▲ 5,162	▲ 4,374	▲ 440	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
日本への輸出	千ユーロ	53,343	56,637	50,099	76,889	84,296	56,754	16,365	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	25,668	27,999	21,738	24,490	26,795	23,770	6,070	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	27,675	28,638	28,361	52,399	57,501	32,984	10,295	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
ラトビアへの輸出	百万円	7,325	5,794	4,459	5,809	4,343	4,302	1,142	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	8,847	8,868	8,650	10,088	16,770	10,559	2,979	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 12,427	▲ 6,257	▲ 1,837	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 Q1	出典
ラトビア→日本	人	2,551	2,701	393	197	631	2,567	873	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	29,534	20,416	2,358	396	1,229	3,166	590	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2024年6月末現在、1ユーロ=170円程度。

(2024年7月1日まで公表分のデータ)